

# 第31期 中間報告書

平成24年4月1日～平成24年9月30日

城南予備校

現役合格保証

城南コベッツ

成績保証のある個別指導

## 株式会社城南進学研究社

### 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、当社は第31期の中間期（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）を終了いたしましたので、その概要についてご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に向けた公共投資の本格的な実施を背景として緩やかな回復傾向にあるものの、欧州を中心とした金融不安や中国を始めとする海外景気減速の影響、さらには円高の長期化によって、依然として不透明な状況で推移しております。

当業界におきましても、公教育の脱ゆとり化の進行を受けて保護者の教育熱に高まりは見られているものの、慢性的な少子化とそれに伴う入試競争の緩和から、受験指導の需要が頭打ちとなり、幅広い年齢層に訴求した事業展開が加速されております。

このような情勢の中で当社は、9月16日に創立30周年記念式典を開催し、従来のコア事業の軌跡と近年の新規分野の展望について認識を共有し、「総合教育企業」としてのより明確な方向性を掲げて従業員一同の結束を図りました。この中間期の業績におきましては、厳しい環境の中、前年同期に比べて上昇傾向を維持しております。

予備校部門では、4月からの継続生及び新規生に加え、2学期からの途中入学者数も安定した水準を確保しております。  
個別指導直営部門におきましては、前事業年度に開校した教室の新規入学が寄与し、当中間期末で前年同期末以上の入学者を集めております。また、個別指導FC部門では、この中間期に9教室を新たに開校し、累計生徒数では前年同期比で1,000人近い増加を実現させております。

映像授業部門におきましては、前事業年度末に開校した新潟県長岡校の集客が順調に推移し、開校1年目ながら既存校舎並みの受講者数を記録するなど、全体として高い伸び率を維持しております。

乳幼児部門では、くぼたのうけん目黒教室が、9月の開校と同時に評判を呼び、想定以上の受講者を集めるとともに、既存の自由が丘、横浜では後発の幼児クラスが順調な伸びを見せております。また開園して2年目を迎えた東京都認証保育所「城南ルミナ保育園立川」では、当中間期末の時点で前事業年度末の園児数を超え、売上高も堅調に推移しております。

デジタル教育部門では、小中学生対象のeラーニング「城南マナビックス」、乳幼児教育の「くぼたのうけんWEBスクール」とも安定した受講者数を維持しております。

一方、利益面におきましては、5月の西日本支社の開設に加え、積極的なFC展開や個別直営教室、映像授業校舎及び乳幼児教室の新規開校等に伴う開校費用や人件費が発生しており、前年同期に比べて減少しております。

この結果、当中間期における売上高は2,640百万円（前年同期比3.9%増）となり、営業利益が128百万円（同44.6%減）、経常利益が147百万円（同40.6%減）、中間純利益は113百万円（同50.2%減）となりました。

今後も引き続き様々な層における多様な教育ニーズを掘りおこすことによって、事業領域の拡大に努めてまいります。  
株主の皆様におかれましては、何卒より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
下村 勝己

# 中間財務諸表の概要

## ◆ 中間貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期	前中間期
	平成24年 9月30日現在	平成23年 9月30日現在
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>1,669</b>	<b>1,225</b>
現金及び預金	1,102	841
売掛金	137	152
有価証券	105	6
商品	33	30
繰延税金資産	81	—
その他	209	193
貸倒引当金	△0	△0
<b>固定資産</b>	<b>3,447</b>	<b>3,527</b>
有形固定資産	1,694	1,715
建物（純額）	795	814
土地	834	834
その他（純額）	64	66
無形固定資産	95	53
投資その他の資産	1,657	1,758
投資有価証券	100	198
関係会社株式	31	—
敷金及び保証金	856	846
投資不動産（純額）	483	487
その他	204	241
貸倒引当金	△19	△16
<b>資産合計</b>	<b>5,116</b>	<b>4,752</b>

<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>743</b>	<b>621</b>
買掛金	34	28
未払法人税等	40	28
前受金	313	267
賞与引当金	20	17
資産除去債務	0	—
その他	333	279
<b>固定負債</b>	<b>502</b>	<b>462</b>
繰延税金負債	11	9
退職給付引当金	178	152
資産除去債務	282	269
その他	30	30
<b>負債合計</b>	<b>1,246</b>	<b>1,084</b>

<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>4,774</b>	<b>4,583</b>
資本金	655	655
資本剰余金	652	652
利益剰余金	3,775	3,584
自己株式	△309	△309
<b>評価・換算差額等</b>	<b>△904</b>	<b>△915</b>
その他有価証券評価差額金	△1	△12
土地再評価差額金	△902	△902
<b>純資産合計</b>	<b>3,869</b>	<b>3,668</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>5,116</b>	<b>4,752</b>

## ◆ 中間損益計算書

(単位：百万円)

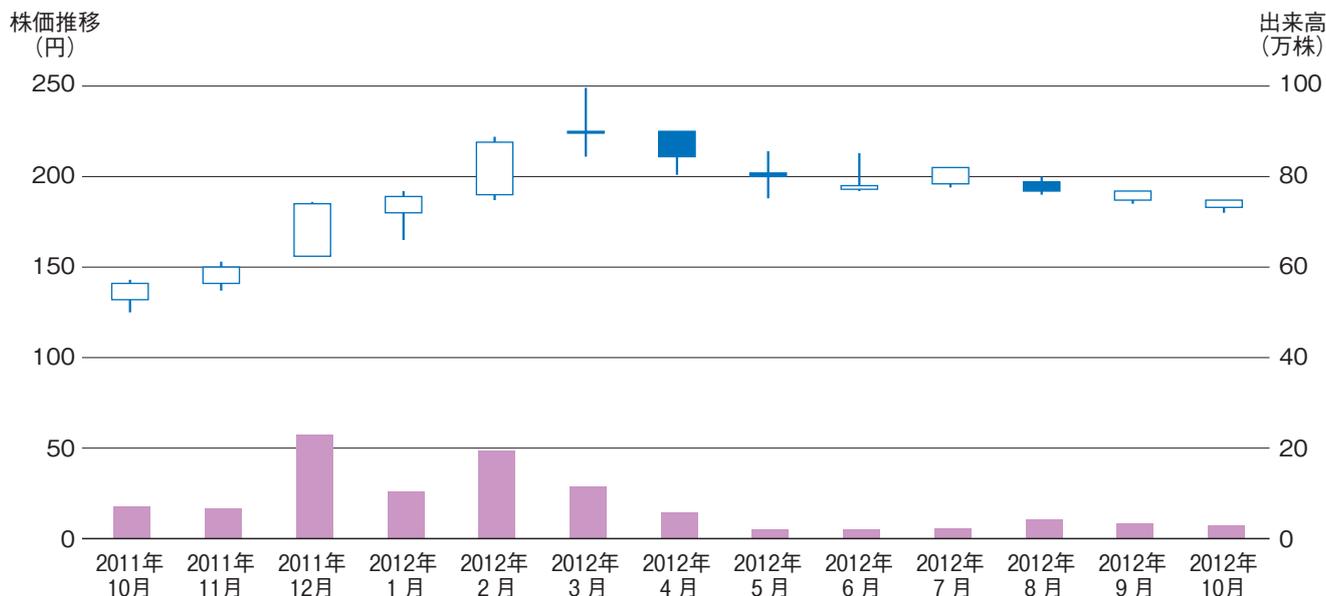
科目	当中間期	前中間期
	平成24年 4月1日 ～24年 9月30日	平成23年 4月1日 ～23年 9月30日
売上高	2,640	2,542
売上原価	1,884	1,790
売上総利益	756	751
販売費及び一般管理費	628	520
営業利益	128	231
営業外収益	28	28
営業外費用	9	11
経常利益	147	248
特別利益	—	26
特別損失	1	27
税引前中間純利益	146	247
法人税等	32	20
中間純利益	113	227

## ◆ 中間キャッシュ・フロー計算書

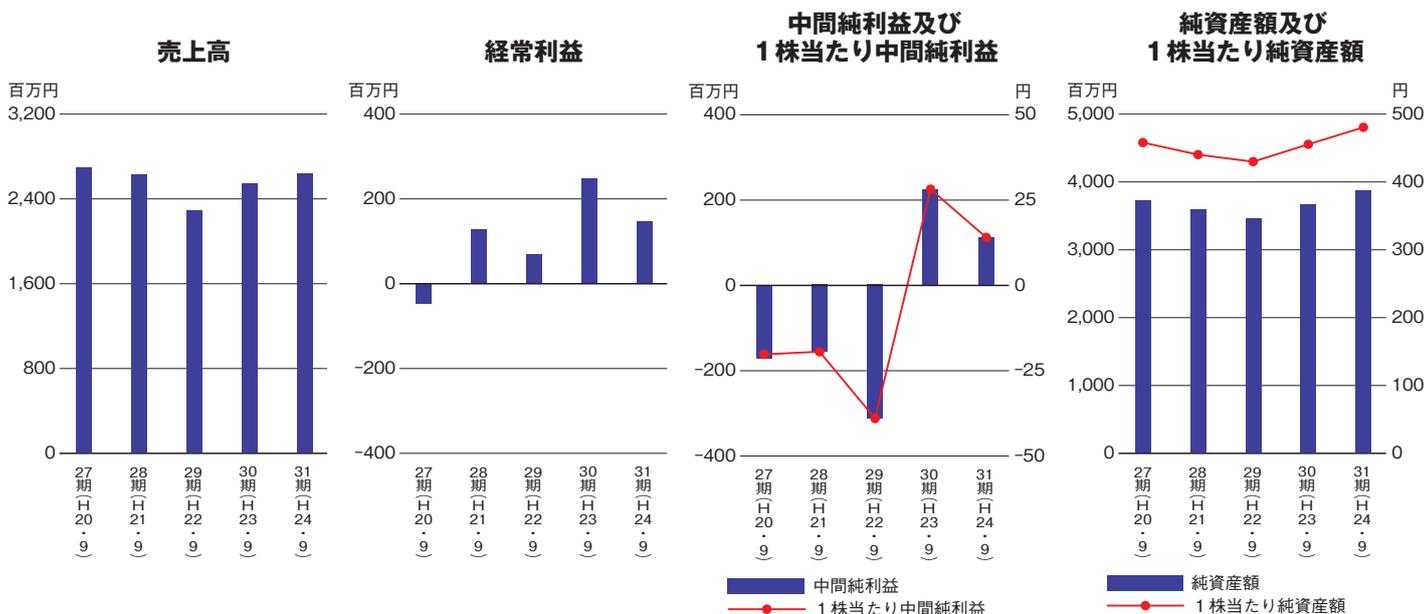
(単位：百万円)

科目	当中間期	前中間期
	平成24年 4月1日 ～24年 9月30日	平成23年 4月1日 ～23年 9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	49	243
投資活動によるキャッシュ・フロー	△269	29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81	△1
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△301	269
現金及び現金同等物の期首残高	1,190	579
現金及び現金同等物の中間期末残高	889	848

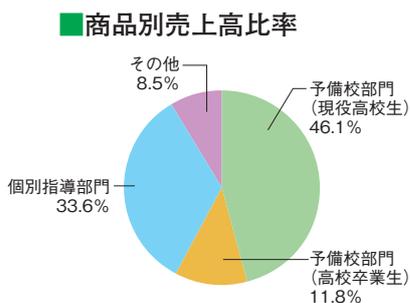
# 株価と出来高



# 業績報告



## 校舎・教室数 (平成24年9月30日現在)



### 予備校

東京都	4校舎
神奈川県	5校舎
千葉県	1校舎

### 個別指導教室

【直営】	
東京都	20教室
神奈川県	31教室
埼玉県	5教室
千葉県	1教室
兵庫県	1教室
【フランチャイズ】	
東京都	45教室
神奈川県	31教室
千葉県	12教室
埼玉県	9教室
その他	30教室

### 映像授業校舎

東京都	2校舎
埼玉県	1校舎
群馬県	1校舎
千葉県	1校舎
新潟県	1校舎

### 乳幼児教室

東京都	2教室
神奈川県	1教室

### 認証保育園

東京都	1園
-----	----

